

県議会議員

あらい、絹世の磯っ子レポート

県政を
もっと
身近に



<http://www.araikinuyo.jp>

堀割川べりへの親水施設の整備 神奈川県が計画策定へ準備作業

横浜市の南部を流れる主要河川に神奈川県が管理する2級河川の大岡川があり、この川の水系支川として堀割川があります。明治5年(1871)の横浜の港整備の一環として開削された人工河川で、大岡川から枝分かれした中村川の架橋である中村橋(南区)付近から磯子区内を流れて根岸湾に注ぐ全長2.7kmの運河です。大正15年(1925)から昭和3年(1928)にかけては関東大震災の復興事業として護岸改修などが行われました。舟運の名残を残す階段護岸などがあり土木学会から推奨土木遺産に指定されるなど歴史ある景観をたたえた貴重な施設ですが、神奈川県では横浜市が進めている「横浜市かわまちづくり」事業と連携しながら、新たに川べりに親水施設を新設する計画を進めています。昨年度に事業決定し、地質調査などを進めていますが、今年度(2016)も当初予算に地質調査等の費用900万円を計上し、計画を策定するための準備作業に取り組んでいます。当初示された計画では完成は2017年度内とされています。



堀割川から見た整備予定地

場所は同川の右岸(ニトリ磯子店)側で、JR根岸線ガード下から八幡橋付近にかけて広がっている川べりの約1500平方メートルの横浜市所有の空き地。この一部に人々が親しみ楽しめる施設を新しく設けることにしています。県がこれまでに大岡川水系で整備してきた親水施設として、栈橋やプロムナード、ふれあいアクアパークなどの設置がありますが、堀割川の川べりの施設については、今年度中に地域の人たちからの意見や要望を聴くなどして計画内容を定める予定です。なお、堀割川の治水の安全面ということでは、昭和56年(1981)に大岡川分水路が完成したことで、おおむね1時間当たりの雨量が50mmの降雨にも対応できる安全な施設となっています。



コレが言いたい!

今後、堀割川の親水施設の整備により川でのスポーツ振興や地域の憩いの場やレクリエーションの場としての役割はもちろん、県がこれまで整備してきた他の拠点との連携により更なる賑わいの創出が期待されます。その為にも地元の意見をしっかりと聴く必要があります。

今月の
ひと言

5月は「自転車月間」です。昨年6月1日より自転車の交通違反の罰則が強化されました。信号無視や酒酔い運転など一定の危険な違反行為をして2回以上摘発された自転車運転者は、公安委員会の命令を受けてから3ヵ月以内の指定された期間内に講習を受けなければいけません。

磯子あれ? これ?

滝頭小学校

滝頭小学校は昭和3(1928)年、横浜市瀧頭尋常高等学校(尋常科6年・高等科2年)として開校しました。関東大震災の復興計画の一つとして当時ではめずらしい、鉄筋コンクリートの3階建て校舎が建てられました。同校は、美空ひばりの出身校として知られています。

昭和30年NHK合唱コンクールで全国3位入賞、翌31年同コンクール県優勝の実績があります。滝頭小の校歌は、開校後35年経った昭和38年10月に制定されました。

校長室には岩手県出身の教育者新渡戸稲造氏の書「内外順和」(内なるものと外なるもの二つを仲良くする)が、飾られています。また正面玄関脇にある幾何学模様のステンドグラスは、国会議事堂にも作品がある森勇三氏の手によるものです。残念ながら、いずれの作品も、なぜ学校にあるのか、記録が残っていないのでわかりません。

滝頭小のシンボル「ヒマラヤスギ」の大きな木が敷地内に数本あります。そのうちの一本が平成8年9月の台風によって倒れました。平成10年の創立70周年を記念して、この倒れた木で輪切りのオブジェを作り児童たちが「ヒマラヤ70」と命名して玄関に飾っています。

参考：滝小創立80周年記念誌・学校長の話

活動報告

3月28日(月)から30日(水)まで県政調査で、福岡県の産業用ロボット等メカトロニクス製品の製造を行う株式会社安川電機や大学発ベンチャー企業株式会社西部技研、熊本県の地域の物産物を直売するシステムを構築している株式会社ココファームやベビーリーフの大規模有機栽培に取り組んでいる株式会社果実堂を訪問しました。

訪問した熊本県は地震により大きな被害を受けました。心からお見舞いを申し上げますと共に、我々自民党も「お互い様の精神」により被災された方々を支援する為、募金活動を各地で行いました。



株式会社安川電機



株式会社西部技研



株式会社果実堂



熊本地震
救援募金活動



あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日 横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井(株) / (株)メタルワン

- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成27年4月 県議会議員2期目当選
- 県民企業常任委員会委員
- 行財政改革・地方分権特別委員会副委員長
- 自民党神奈川県議会議員団政務調査会副会長

